

お知らせとお願い

研究課題 「子宮筋腫合併妊娠における分娩時出血リスクの検討」

防衛医科大学校産科講座では子宮筋腫を持つ妊婦さんのお産に際し、大出血を引き起こす原因を特定するための調査を計画しました。

妊娠されている方の数%から 20%程度の確率で子宮筋腫が見つかります。子宮筋腫合併妊娠は早産や早期破水、腹痛などのさまざまな症状を引き起こす原因となりますが、お産の時の大出血を引き起こす一因ともいわれています。

子宮筋腫合併妊娠では、そうでない妊娠よりも帝王切開になる確率が高いといわれているため、防衛医科大学校病院産科では、子宮筋腫の位置や大きさ、数、胎盤との位置関係を調べ、帝王切開時にどのように安全にお産を行えるか、お産前に評価を行っています。

本研究ではそういった子宮筋腫合併妊娠と診断され、MRI を撮影した方のお産の情報、MRI の画像からデータを集め、それを分析することにより大出血を引き起こす原因を解明しようという計画です。対象となる方は平成 17 年 1 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日までの間に防衛医科大学校病院産科で子宮筋腫合併妊娠と診断され、お産を行われた方です。また、比較のため、同時期に子宮筋腫を合併しない妊娠でお産を行われた方を対象として、お産の情報の解析をいたします。

本研究においては追加でお願いする検査はありません。分娩記録や MRI など、既存の医療記録を用いますので、対象となる方に研究参加の依頼をすることはありません。

本研究では、個人が特定される情報をいただくことはなく、通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。研究結果をまとめて専門の学会や学術雑誌に発表することがありますが、個人を特定されることはありません。平成 17 年 1 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日までの間に防衛医科大学校病院でお産を行った方で、ご自身の臨床データを研究に使わないでほしい、というご希望がある方は、下記連絡先までご連絡いただけますようお願いいたします。個人情報の保護については、防衛医科大学校個人情報管理者の指導の下で、産科婦人科助教 佐々木 直樹が厳重に管理等を行います。

まお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、防衛医科大学校病院における診療にはまったく何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

連絡先：防衛医科大学校産科婦人科講座

古谷 健一

04-2995-1211